

補足資料

第3回ルーキーズフェスの変更点について

本連盟では年に3回大会を実施している。7、8月の軽音楽コンテスト（全学年対象）、11、12月の新人大会（1、2年生対象）、2月ルーキーズフェス（原則1年生対象）である。

特に軽音楽コンテストと新人大会はコンテストという形式や上位大会を設けていることもあり、参加者の公平性という観点で多くの参加規定を設定している。これら2つの大会の様式に習う形でルーキーズフェスについても要項を作成した。しかし、参加者が（1年生のため）演奏することや楽曲を作成することに不慣れであること、インフルエンザを含め体調不良者が出やすい時期であることから、過去第1、2回の大会では、演奏辞退・当日欠席や大会運営上特別審議を要する案件があった。

ここで、ルーキーズフェス立ち上げの目的を振り返ると（H28要項より）、

- ①埼玉県高等学校における軽音楽系部活動に所属する生徒に発表の場を与えるとともに、学校間交流を促進する。
- ②コンテストという形式ではなく、他校の演奏に加え、講師からの指導講評やゲスト演奏を通して、音楽の奥深さ・楽しさを体験する
- ③他校の演奏や顧問講評を通して、1年生のその後の活動の指針とする。

となっている。

多くの生徒が初心者から始めた1年生バンドが1年間の練習の成果を披露したり、参加者が交流し切磋琢磨する仲間作りをしたりする場としてルーキーズフェスの存在意義は大きい。そのため、公平性保証のために規則などの制約が強くなっている現状から、近隣校との合同ライブ形式のような形式にすることで参加者・運営双方にとってやりやすい形でルーキーズフェスを実施できるよう変更した。本大会が、学校で軽音楽活動をしている1年生の活動目標になり、同世代の演奏を聞き合うことで刺激を受け、生徒のその後の成長の一助となることを願う。

要項については、運営上必要な最低限の項目のみ記載した。近隣校との合同ライブ（複数校で集まり演奏会をする）をイメージしていただきたい。メンバー変更や曲目の変更による受賞対象外などの規定もすべて除かれているが、これらの変更については、会場校の大会運営に著しく支障が生じないように、参加各校の良識ある行動をお願いしたい。

なお、自分の演奏を他者がどう感じたかという評価を、コメントシートの他に、賞状という形で所属校に持ち帰ることができるということは、生徒のモチベーションアップに大いに関係があると考え、生徒相互投票による各賞の授与は継続する。

昨年まで2年間続けていた指導講評の講師及びゲスト演奏は、その連絡や接待に少なからず時間や労力を割くこととなる。また、開催校の負担をできるだけ通常の合同ライブに近づけるため廃止する。近隣校との合同ライブ形式にすることで、要項通りの一定の形式に従いつつも、その他に会場毎の特色を出せる余地もできたという点は参加校にはご了承願いたい。（会場によってはステージ衣装が認められる、最優秀バンドのアンコール演奏があるなどが起こり得るということ。）

ルーキーズフェスを、今後県内での合同ライブ開催数増加のきっかけとしたい。